



# 館長だより

山形県産業科学館

令和6年10月11日(金)

発行 館長 加藤 智 一

## 晴れの特異日

私が幼稚園、小学校の頃は、運動会と言えば「お弁当」。ではなく10月10日と決まっていたものでした。多分。その理由として良く耳にしたのが、オリンピック記念説。前の前のオリンピックは1964年10月10日に開会式があったという話です。ではなぜそもそも10月10日だったのかという事ですが、それは、10月10日が晴れの「特異日」で、しかも当時は土曜日だったからです。「特異日」とは決まって、ある天気になりやすい日のことで、晴れの特異日とは、特に根拠があるわけではないのですが、統計的に前後の日と比較して晴れの天気になる実績がある日です。因みに以降？10月10日は体育の日となり、祝日となりました（今は連休狙いで、今年は10月14日月曜日が「体育の日」改め「スポーツの日」となりました）。また、11月3日も晴れの特異日で、「文化の日」です。



山形だったら秋晴れの日休日にやりたい事といったら、まず思い浮かぶのが芋煮会でしょう。その次ぐらいいかな？紅葉狩りは!! 今年の紅葉の見頃はいつなのか？ウェザーニューズ「第二回紅葉見頃予想」によれば、蔵王地蔵岳山頂付近では、今が見頃（例年の見頃は9月下旬～10月上旬頃）。中央高原ドック沼周辺が4～5割ほど色付き始め（例年の見頃10月上旬頃）。観松平・いろは沼付近で6～7割ほど色付いています（例年の見頃10月上旬～10月中旬頃）。蔵王温泉街で2割ほど色付き始めというところ（例年の見頃10月下旬頃）。山寺はまだ色付いておりません（例年の見頃10月下旬～11月上旬頃）。西蔵王は4割ほど色付き始め（例年の見頃10月中旬頃）。もみじ公園はまだ色付いておりません（例年の見頃11月上旬～11月中旬頃）。主なところとしては、こんなところでしょうか。全体的な傾向としては、東北や東日本の山



地では色付きに遅れ、東～西日本の平野部では平年並の予想となっています。記録的な暑さや平年より長い日照時間の影響で一部の葉に変色が見られるものの、全体への影響は僅かだとか。

しかし、東北や東日本の標高の高い山では、これまでの厳しい残暑の影響で、平年よりも葉の色付きが遅れる傾向にあり、10月も平均気温の高い傾向が続くため、例年10月に見頃を迎える名所では、見頃の時期がいつもより遅くなる予想が出ています。しかし11月になると天気は周期変化ながら晴れる日が増え、朝晩は放射冷却が効いて色付きに必要な冷え込みが見込まれており、例年11月以降に見頃を迎える東日本や西日本の平野部の名所では、平年並の時期に紅葉を楽しめるところが多くなりそうです。例えば秋の鎌倉、長谷寺、明月院、覚園寺、建長寺など、11月下旬から12月中旬まで楽しめますので、私的にはお勧めです。雪降らないし。

### 山形で大発生

#### 緑のカメムシ「ツヤアオカメムシ」

山形にはいるはずがないカメムシがなぜ今ここに。街灯の下やコンビニの玄関あたりに蔓延しているのか。どうやら台風や前線に乗ってやってきたらしいとのこと。みかんなどの果実に付く虫らしいのですが、このまま居座られたら困る。ご安心ください。冬の寒さに弱いので、県内では冬を越せないらしい。

